



平成29年5月12日

各 位

会 社 名 第一化成株式会社
 代表者名 代表取締役社長 中野 淳文
 (コード：4235、JASDAQ)
 問合せ先 法務・コンプライアンス室長 高山 裕史
 (TEL. 042-644-6516)

通期連結業績予想数値と実績値との差異および配当予想の修正に関するお知らせ

平成28年5月11日に公表しました平成29年3月期の通期連結業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、当期の業績を踏まえ、平成28年5月11日に公表いたしました平成29年3月期の配当予想を修正いたしましたのであわせてお知らせいたします。

1. 当期の通期連結業績予想数値と実績値との差異（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する連結当期純利益	1株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	5,360	750	980	650	111.94
実 績 値 (B)	5,431	517	516	306	46.61
増 減 額 (B-A)	71	△233	△464	△344	—
増 減 率 (%)	1.3	△31.1	△47.3	△52.9	—
(参考) 前期連結実績 (平成28年3月期)	5,203	957	1,177	843	145.18

通期連結業績予想数値との差異理由

外国為替相場が前年度対比円高方向に推移したものの、家具・車輛用を中心として新デザイン製品の投入や防汚性等の機能性を強化した製品が堅調に販売に貢献したことにより売上高は前年同期を上回る結果で推移いたしました。しかしながら、平成29年2月に持分法適用関連会社である Ultrafabrics, LLCの持分を創業オーナー2名より買い取り、同社を完全子会社いたしました。これに関連する諸費用負担が当初の予定を上回ったため、平成29年3月期の通期連結業績予想数値との差異が生じたのでお知らせいたします。

なお、平成29年3月期の通期個別業績予想につきましては、資金借入れコストの負担があり、一部損益に与える影響はあったものの、当初の予想を据え置きます。

2. 配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想		15円00銭	15円00銭
今 回 修 正 予 想		18円00銭	18円00銭
当 期 実 績	0円00銭		
前 期 実 績 (平成28年3月期)	0円00銭	18円00銭	18円00銭

配当予想修正の理由

上記、「通期連結業績予想数値との差異理由」に記載の通り、平成29年3月期において持分法適用関係会社であるUltrafabrics, LLCの持分を買い取り、同社を完全子会社化したことによる諸費用が想定より増加したため、差異が生じました。

しかしながら、当社グループのビジネスは上昇基調で推移しており、一過性の費用により減益となったものの本来株主の皆様へ還元するための利益は十分に得ております。

このため、今後の経営環境や業績動向の見通しを踏まえ、期末配当予想を1株当たり15円から18円に修正いたします。

なお、期末配当金につきましては、平成29年6月22日開催予定の第52回定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定です。

(注) 上記の業績予想等につきましては、現時点では入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上